

製品保証期間：1年間

保証内容の詳細については添付の「製品保証規定」カードをお読みください。

また最新の情報については弊社ウェブサイト（www.minoura.jp）をご参照ください。



<自転車搭載状態の例>

注意していただきたいこと

- バーゴTFスタンドは、バーゴTF2を利用して簡易型の自転車整備スタンドにするための三脚式台座スタンドです。バーゴTF1およびTF3では使用できません。
- ボトムブラケットを締め付けるなど強い荷重がかかる重作業はTFスタンド上では行わず、必ず自転車を床に下ろした状態で実施してください。TFスタンドはあくまでも軽い調整作業用のスタンドです。
- 前輪を取り外した前フォークをつかむスタイルでのみ使用できます。後輪側では使えません。
- ボトムブラケットをバーゴTF2のエンドベース上に載せる形で自転車を保持します。もしその部分に電動シフターのバッテリーなど他の部品がある場合には、使用できない場合があります。
- 通常のホイールベースを持ったスポーツ用2輪自転車専用です。ホイールベースの長いタンデム車やロングテール車、また車重の重いダウンヒルバイクや電動アシスト車などでは、搭載バランスや強度の点で適していません。
- 自転車保持台となるバーゴTF2を水平に回転させることで左右いずれの側にも簡単にアクセスすることができるという点を利用して洗車スタンドとしても用いることができますが、一部には水に濡れると錆びてしまう鉄製の部品が使われています。洗車の後にはできるだけ早いうちに水気を切り、しっかりと乾燥させておいてください。
- 前のめりになって転倒しないよう、搭載ベースとなるバーゴTF2は必ず三脚のいずれかの脚の真上にセットした状態で使用してください。
- 不意の脱落を防止するため、付属のベルクロバンドを使って車体をバーゴTF2に縛り付けた状態で使用してください。

問い合わせ先

もし何かわからないことがあった場合は、まずお買い求めになった**販売店**にお問い合わせください。
もしそこで十分な情報やサービスを受けられない場合に限り、下記までお問い合わせください。

株式会社 箕浦（製造元）

〒503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1
Phone: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505
minoura@minoura.jp（営業）
infodesk@minoura.jp（カスタマーサービス）
www.minoura.jp

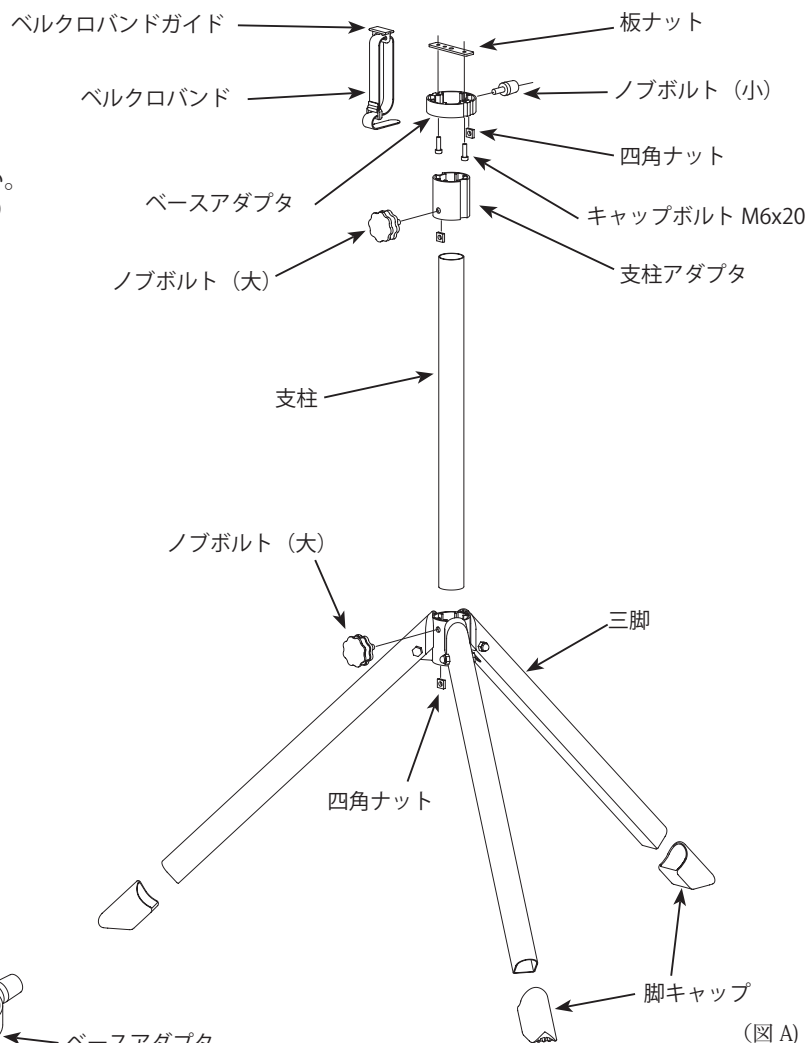
株式会社 フカヤ（販売元）

〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 1-37 フカヤビル 3F
Phone: (052) 228-8910 / Fax: (052) 228-8917
www.fukaya-sangyo.co.jp

各部の名称

以下の説明は、右図にあるような名称で行ないます。

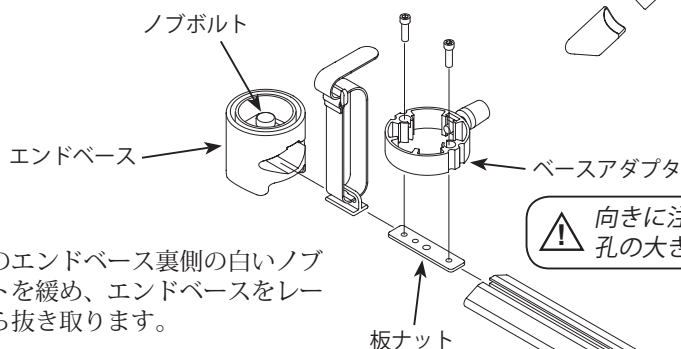
補修部品が必要な場合もこれらの名称で指示してください。
(ノブボルト (大) と四角ナットはそれぞれ同じものです)



バーゴTF スタンドの準備

必要な工具： 5ミリ六角レンチ

お持ちのバーゴTF2に、TF スタンドを装着するためのベースアダプタとベルクロバンドを取り付けます。



⚠ 向きに注意。
孔の大きい側からボルトを挿入する。

1 TF2のエンドベース裏側の白いノブボルトを緩め、エンドベースをレールから抜き取ります。

2 板ナットをベースレールの下側の溝の中に入れます。

3 板ナットをレール端からおおよそ20cmくらいのところまで動かしてから、そこにベースアダプタをM6x20ボルトでねじ込んで固定します。

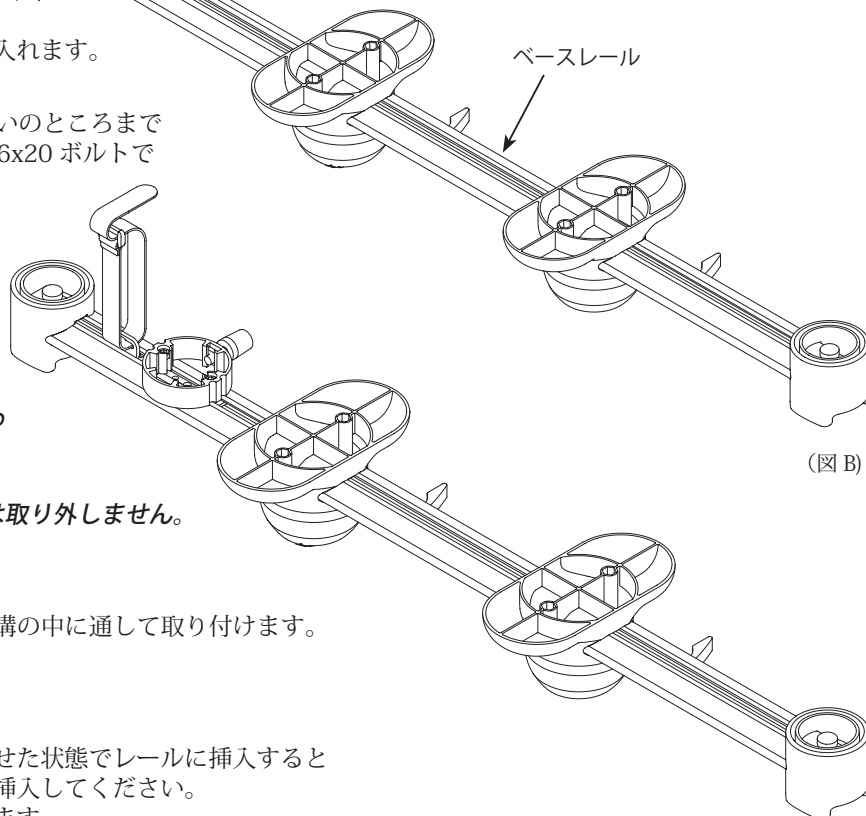
⚠ アダプタには裏表の別があります。丸い穴が大きい方がボルトを挿入する側です。キャップボルトはアダプタの中に完全に隠れます。

⚠ TF2の前フォーク受けは動移動してもらわなければならない場合もあります。

⚠ TF2を単独で使う際にもベースアダプタは取り外しません。付けっぱなしでも問題ありません。

4 ベルクロバンドのガイドを同じくレールの溝の中に通して取り付けます。固定はされません。

5 エンドベースを取り付け直します。ノブボルトを指先で押して板ナットを浮かせた状態でレールに挿入するとやりやすいです。必ず最後までいっばいに挿入してください。白いノブボルトをしっかりと締めて固定します。



(図A)

(図B)

(図C)

- 5** 三脚の脚をすべていっぱいにかけて床の上に置きます。
三脚付け根部のノブボルト（大）を緩めれば、支柱は上下に動かせます。適当な高さにしておいてください。

! 支柱上端にある支柱アダプタのノブボルトはここでは緩めないでください。アダプタが下がってしまいます。
もし下がってしまった場合は、アダプタの上端を支柱上端に揃えて固定しておいてください。

- 6** ベースアダプタのノブボルト（小）を緩めておきます。緩めすぎると四角ナットが外れて落ちてきてしまいますので注意してください。

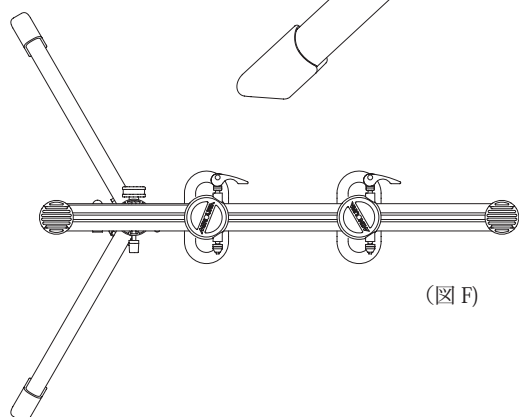
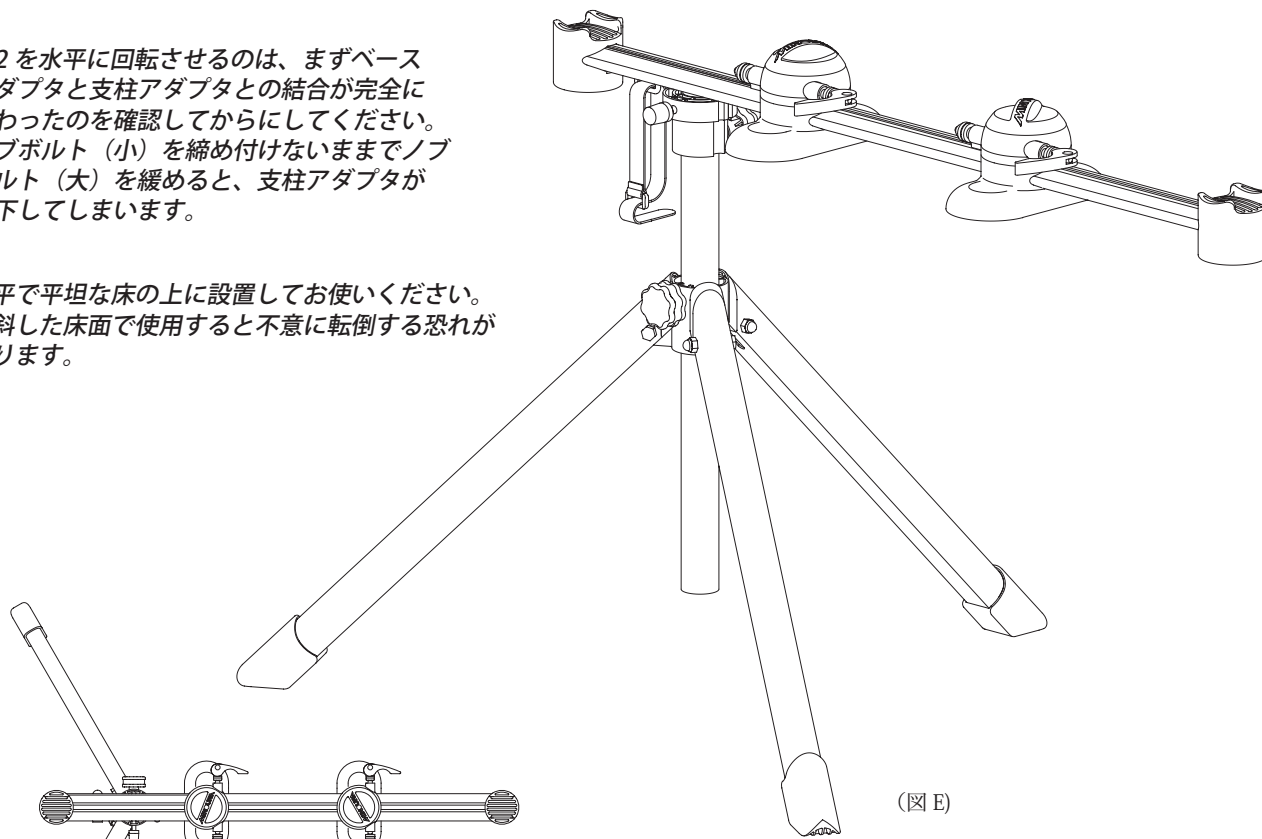
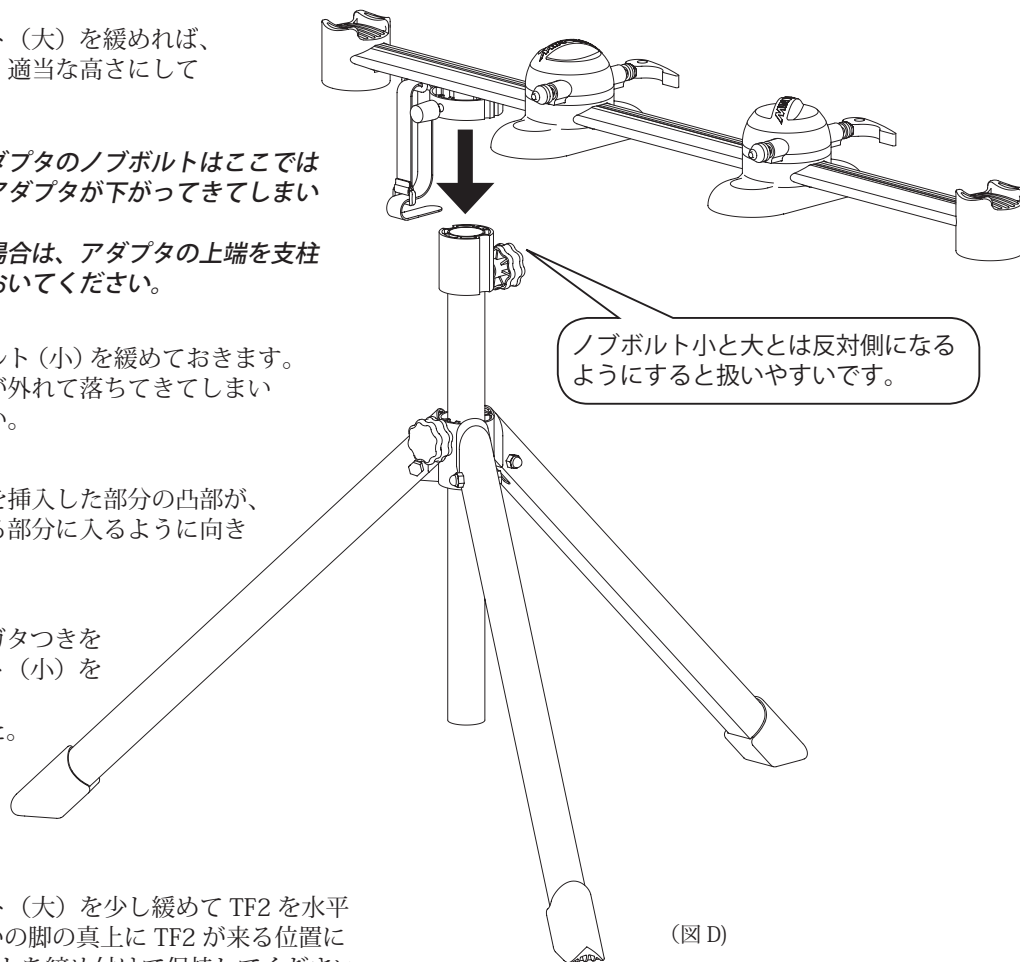
- 7** ベースアダプタのボルトを挿入した部分の凸部が、支柱アダプタの凹んでいる部分に入るように向きを合わせて差し込みます。

- 8** TF2 を上から押し付けてガタつきをなくした状態でノブボルト（小）を締め込みます。
これで結合が完了しました。

- 8** 支柱アダプタのノブボルト（大）を少し緩めて TF2 を水平回転させ、3本のいずれかの脚の真上に TF2 が来る位置になったら（図 F）、ノブボルトを締め付けて保持してください。

! TF2 を水平に回転させるのは、まずベースアダプタと支柱アダプタとの結合が完全に終わったのを確認してからにしてください。
ノブボルト（小）を締め付けないままでノブボルト（大）を緩めると、支柱アダプタが落下してしまいます。

! 水平で平坦な床の上に設置してお使いください。傾斜した床面で使用すると不意に転倒する恐れがあります。



バーゴTF スタンドに自転車を載せる

- 1** TF2 の前フォーク受けのひとつを 90 度向きを変えます。
一般的には、図 G では右側のものを
使います。左側のは邪魔になら
ないよう位置をずらすだけです。

前フォーク受け上部にある赤い大型
ノブを緩めてクイックの向きを変え
ます (図 H)。

- 2** 90 度向きを変えたところでコツ
と孔に入って位置決めされる場所
があります。その位置でノブを締
めます。

! 孔の凹凸が合わないところで
無理にノブを締めて使わない
でください。

- 3** 赤いノブを少し緩めて、前フォーク
受けがレール上をスライドできるよ
うにしておきます。
クイックリリースのレバーも開いて
おきます。

- 4** ボトムブラケットを TF2 のエンドベースに載せます。
片手で車体を支えながら、もう一方の手で前フォーク
受けをスライドさせ、前フォークをクイックのシャフ
ト上に載せます。

- 5** クイックリリースのレバーを倒して
前フォークを固定します。

TF2 のクイックはカム比の大きい
タイプなので、基本的にナットを
調整する必要はなく、レバー操作
だけで固定・取り外しできます。

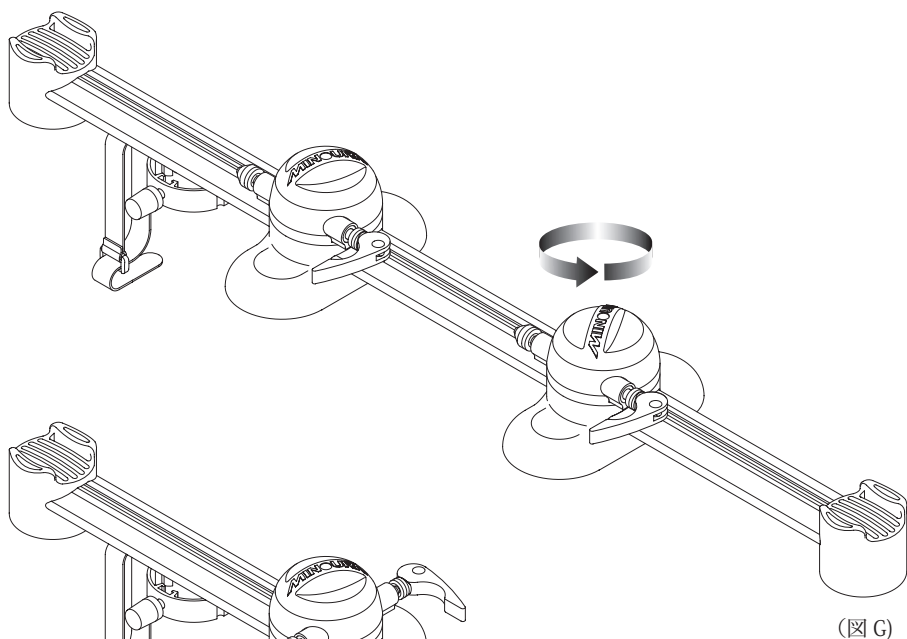
! クイックをしっかりと締め込め
ない場合は、必ずナットを調整
して正しく固定してください。

- 6** 前フォーク受けの赤いノブをしっかりと
締めて位置を固定します。

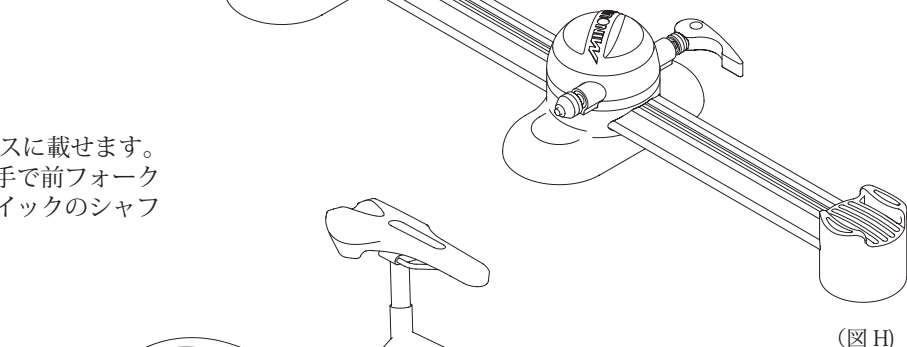
- 7** 最後にベルクロバンドをダウンチューブに回して
車体をしっかりと TF2 に固定しておきます。
以上で自転車の装着は完了です。

! 前フォークを保持しない方の前フォーク受けは、
クランクを回した時に当たってしまわない邪魔に
ならない位置にずらしておきます。

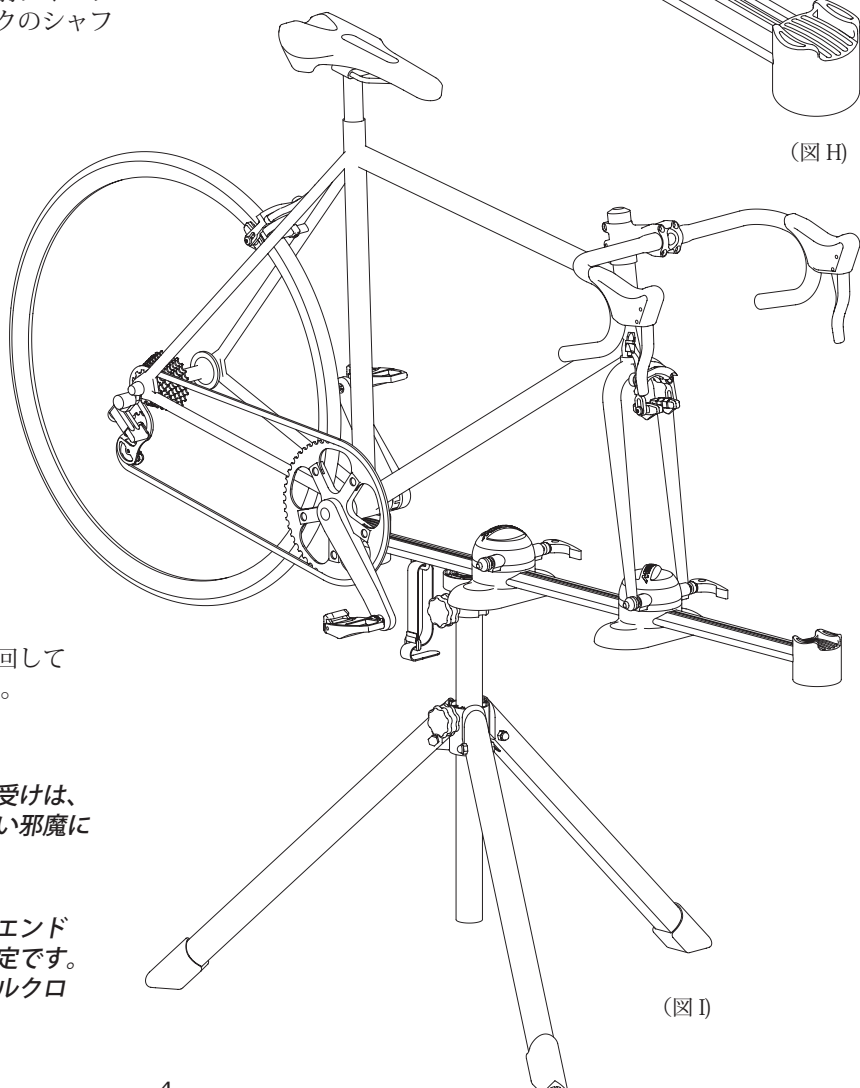
! ベルクロバンドを使わないと車体は単にエンド
ベースの上に乗っているだけなので不安定です。
安全に整備作業が行なえるように必ずベルクロ
バンドを使用してください。



(図 G)



(図 H)



(図 I)

自転車のバランスについて

後輪が装着された状態での自転車はかなり後ろ重心となっています。そのためベースアダプタはボトムブラケットを載せるエンドベースからおおよそ20cmという、かなり端に寄った位置に装着していますが、ここまで下げてこないとバランスが取れないのです。

後輪も取り外した状態の自転車を搭載する場合は、もっと前寄りでも構いません。その際はベースアダプタは2つの前フォーク受けの間に位置することになることもあります。適宜調整してください。



<後輪の付いた状態で搭載した例>



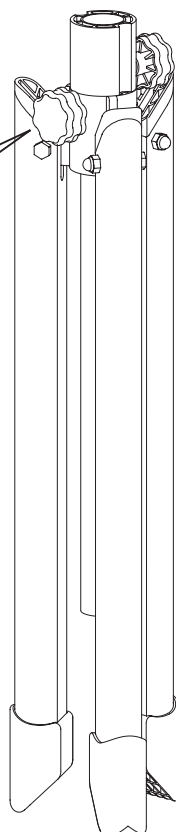
自転車のバランスを考慮しない偏荷重な状態で搭載することは、ベースアダプタにかなり強い負担をかけることとなります。アダプタは軟らかいアルミでできていますので、長くお使いいただくためにも、できるだけ負担をかけないようにしてお使いください。

(図 J)

不使用時の収納について

折りたたんだ三脚の下側ノブボルト（大）にベースアダプタをはめ込む形で一体にすると、コンパクトに収納できて、持ち運びにも便利です。

ここにベースアダプタをはめ込む



(図 K)